

株式会社 Liquid による当社と共同開発した 生体認証を利用した金融機関向けのインターネットログイン管理サービス 『Liquid-Trade』の販売開始について

当社グループが資本業務提携を行なう株式会社 Liquid（本社：東京都千代田区、代表取締役：久田康弘、以下「Liquid」）は平成 28 年 5 月 20 日、当社と共同開発を行った生体認証を利用した金融機関向けのインターネットログイン管理サービスの販売を開始し、また、当社子会社トレイダーズ証券株式会社において、同サービスをもとにカスタマイズした指紋認証によるログインツールを、取引を行う一部の顧客に利用していただく実証実験を併せて開始しましたので、お知らせいたします。

平成 28 年 1 月から施行された金融機関におけるマイナンバー管理や、近年増加の一途を辿るハッカーなどによる不正ログインや不正送金など、証券会社、銀行、保険会社などの金融機関が抱える顧客の情報管理セキュリティ対策の必要性がますます増加しています。今回、Liquid が販売を開始するインターネットログイン管理サービスは、ID、パスワード自体を企業内の情報システムに置かず、同社の生体認証データのみで管理するため、本サービスの利用企業においては、既存業務へのセキュリティ対策を考慮する必要が極めて少なくなります。また、なりすまし可能な ID、パスワードではなく生体認証データで管理を行うため、情報漏洩リスクを最小限にすることもできます。主な機能としては、インターネットバンキングやインターネットトレードにおけるユーザーログイン機能、ログイン情報の不正監視となります。

本サービスの販売は、Liquid の完全子会社である株式会社 Liquid マーケティングが行い、各金融機関向けの開発を行っている企業での取り扱いを広げて行く予定です。また、当社グループは、本サービスを活用できる国内外の様々な企業・団体などに対し、今後も Liquid と協業しながら、その普及・応用に向けて取り組んでまいります。

■『Liquid-Trade』の概要

『Liquid-Trade』は、生体情報を認証 ID とすることで低コストかつ高セキュリティなユーザー認証を実現できる製品です。従来、インターネット経由での本人認証システムには、独自のデータセンターへの保管や情報管理体制の構築など高額な導入費用が掛かっていました。それらの既存の製品に対して、『Liquid-Trade』は、生体情報を ID とすることで、安価で高セキュリティな本人認証システムを導入することが可能になります。

■「Liquid 独自の生体認証エンジン」について

既存の生体認証技術では、ユーザー数増加に伴って、照合時間の増加や、照合精度が下がる問題がありました。それらの問題に対して、Liquid 独自で開発を行った認証アルゴリズムにより、ユーザー数増加による照合時間の増加や照合精度の低下を防ぐことが可能になります。

■Liquid 概要

名 称：株式会社 Liquid

代表者：代表取締役 久田康弘

所在地：東京都千代田区丸の内 1-3-1 東京銀行協会ビル 1401 区

URL：<http://liquidinc.asia/>

※Liquid は、「本人であることが本人を証明する手段になるという当たり前の世界を作る」を事業ビジョンとして、画像解析やビッグデータ解析を用いた生体認証技術を開発している企業です。カードや ID などの外部情報が必要となる既存の生体認証手段ではなく、生体認証情報のみで大規模ユーザー下でも高速で認証できる生体認証技術を開発し、事業を展開しています。Liquid のソリューションは、総務省による「ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (I-Challenge!)」、経済産業省・総務省による IoT 推進コンソーシアムにおける「IoT Lab Selection 第 1 回先進的 IoT プロジェクト選考会議」のグランプリにも採択されております。

＜本件に関するお問い合わせ＞
トレイダーズホールディングス株式会社
東京都港区浜松町一丁目 10 番 14 号 住友東新橋ビル 3 号館 7 階
Tel: 03-4330-4700